



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月1日  
上場取引所 東

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社  
 コード番号 4547 URL <https://www.kissei.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 神澤 陸雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務管理部長 (氏名) 北原 孝秀  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 0263-25-9081

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	52,195	7.5	3,190	16.5	4,570	19.3	6,440	81.8
2020年3月期第3四半期	48,552	△12.1	2,739	△44.9	3,832	△32.0	3,542	△17.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 24,152百万円(71.4%) 2020年3月期第3四半期 14,093百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	137.86	—
2020年3月期第3四半期	75.83	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	262,477	214,646	81.6	4,582.63
2020年3月期	231,794	192,970	83.0	4,119.89

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 214,082百万円 2020年3月期 192,465百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2021年3月期	—	27.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	7.5	800	△56.9	2,100	△13.5	4,600	63.3	98.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	51,811,185株	2020年3月期	51,811,185株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	5,095,139株	2020年3月期	5,095,024株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	46,716,128株	2020年3月期3Q	46,716,371株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、決算短信とあわせて当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	11
(1) 販売実績	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における医薬品業界は、後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、昨年4月に実施されました薬価改定におきまして、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の加算要件が拡充されたものの、後発品への置換え率に基づく長期収載医薬品の薬価引下げがより厳格化されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、建設請負業界、物品販売業界におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が長期化する中、IT投資が加速化する一方で設備投資に対する慎重姿勢は強まり、また、個人消費も持ち直しの動きから足踏み状態へと後退し、依然として厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	増減率 (%)
売上高 (百万円)	48,552	52,195	7.5
営業利益 (百万円)	2,739	3,190	16.5
経常利益 (百万円)	3,832	4,570	19.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (百万円)	3,542	6,440	81.8

## ・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、44,463百万円（前年同期比10.4%増）となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により限られた医薬情報活動となりましたが、腎性貧血治療薬「ダルベポエチン アルファBS注JCR」、過活動膀胱治療薬「ベオバ錠」、高リン血症治療薬「ピートルチュアブル錠」及び「ピートル顆粒分包」などの売上が増加いたしましたことに加え、昨年4月に販売移管が行われました男性における夜間多尿による夜間頻尿治療薬「ミニリンメルト0D錠25µg/50µg」、夜尿症・中枢性尿崩症治療薬「ミニリンメルト0D錠60µg/120µg/240µg」及び「デスマプレシン製剤」、糖尿病治療薬「マリゼブ錠」の寄与などにより、増収となりました。

情報サービス事業の売上高は4,779百万円（前年同期比3.8%増）、建設請負事業の売上高は2,440百万円（前年同期比2.4%増）、物品販売事業の売上高は512百万円（前年同期比59.9%減）となりました。

## ・利益の状況

利益面では、売上原価率の上昇がありました一方、増収に加え、研究開発費を主に販売費及び一般管理費が減少いたしましたことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。なお、特別利益として投資有価証券売却益を計上いたしております。

## ・研究開発の状況

研究開発におきましては、丸石製薬株式会社と共同開発を行っております透析患者におけるそう痒症治療薬MR13A9（開発番号、一般名：ジフェリケフェリン）につきまして昨年、第Ⅲ相臨床試験を開始いたしました。また、ビフォー・フレゼニウス・メディカル・ケア・リーナル・ファーマ社（スイス）より技術導入いたしました顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬CCX168（開発番号、一般名：アバコパン）につきましては、第Ⅲ相臨床試験が終了し、承認申請に向けた準備を進めております。

このほか、昨年10月には当社が創製いたしましたパーキンソン病治療薬KDT-3594（開発番号）につきまして、中国、台湾、香港、マカオ及び東南アジア6ヵ国（シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、ベトナム、フィリピン）における独占的な開発権及び販売権等をアフアメドセラピューティクス社（香港）に許諾する契約を締結いたしました。

なお、当社が創製しオブシーバ社（スイス）に技術導出しております子宮筋腫・子宮内膜症治療薬リンザゴリクス（一般名、国内開発番号：KLH-2109、海外開発番号：OBE2109）につきましては、昨年11月に同社より、子宮筋腫を適応症として欧州医薬品庁（EMA）に承認申請が行われました。

(2) 財政状態に関する説明

・資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は262,477百万円となり、前連結会計年度末に比べ30,682百万円増加いたしました。流動資産は受取手形及び売掛金、たな卸資産などが増加いたしました。現金及び預金などが減少いたしましたことなどにより、2,157百万円減少し94,519百万円となりました。固定資産は投資有価証券の増加などにより、32,840百万円増加し167,957百万円となりました。

・負債の状況

当第3四半期連結会計期間末の負債は47,830百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,005百万円増加いたしました。流動負債は、支払手形及び買掛金、未払法人税等が増加いたしましたことなどにより、1,234百万円増加し18,259百万円となりました。固定負債は繰延税金負債の増加などにより7,771百万円増加し、29,571百万円となりました。

・純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の純資産は214,646百万円となり、前連結会計年度末に比べ21,676百万円増加いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が増加いたしましたことによります。

自己資本比率は、前連結会計年度末の83.0%から81.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、第3四半期連結会計期間において利益が先行している状況ではありますが、2020年11月5日発表の連結業績予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	36,329	23,151
受取手形及び売掛金	19,462	27,474
有価証券	23,342	23,148
商品及び製品	6,926	9,272
仕掛品	622	1,426
原材料及び貯蔵品	5,890	5,965
その他	4,103	4,081
流動資産合計	96,677	94,519
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,746	38,846
減価償却累計額	△29,347	△29,838
建物及び構築物 (純額)	9,398	9,007
土地	12,622	12,622
建設仮勘定	1	172
その他	16,601	16,619
減価償却累計額	△14,018	△14,316
その他 (純額)	2,582	2,302
有形固定資産合計	24,605	24,105
無形固定資産	1,511	1,639
投資その他の資産		
投資有価証券	105,158	130,112
繰延税金資産	677	538
その他	3,200	11,599
貸倒引当金	△36	△37
投資その他の資産合計	108,999	142,212
固定資産合計	135,117	167,957
資産合計	231,794	262,477

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,237	7,249
短期借入金	1,746	1,746
未払法人税等	196	1,553
賞与引当金	1,858	805
その他の引当金	452	656
その他	7,532	6,248
流動負債合計	17,024	18,259
固定負債		
長期借入金	13	1
繰延税金負債	17,191	25,180
役員退職慰労引当金	175	161
退職給付に係る負債	3,572	3,422
資産除去債務	117	121
その他	729	684
固定負債合計	21,800	29,571
負債合計	38,824	47,830
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,226	24,226
利益剰余金	106,461	110,425
自己株式	△11,608	△11,608
株主資本合計	143,435	147,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,706	68,179
退職給付に係る調整累計額	△1,676	△1,497
その他の包括利益累計額合計	49,029	66,682
非支配株主持分	504	564
純資産合計	192,970	214,646
負債純資産合計	231,794	262,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	48,552	52,195
売上原価	20,764	26,675
売上総利益	27,788	25,520
返品調整引当金戻入額	17	6
返品調整引当金繰入額	6	8
差引売上総利益	27,799	25,517
販売費及び一般管理費	25,060	22,327
営業利益	2,739	3,190
営業外収益		
受取利息	29	20
受取配当金	1,021	1,070
有価証券評価益	—	233
その他	103	110
営業外収益合計	1,154	1,436
営業外費用		
支払利息	17	17
有価証券評価損	4	—
為替差損	9	23
その他	28	14
営業外費用合計	60	55
経常利益	3,832	4,570
特別利益		
固定資産売却益	27	0
投資有価証券売却益	950	4,083
特別利益合計	977	4,083
特別損失		
固定資産処分損	17	9
投資有価証券評価損	—	73
特別損失合計	17	83
税金等調整前四半期純利益	4,793	8,570
法人税、住民税及び事業税	684	1,629
法人税等調整額	514	450
法人税等合計	1,199	2,080
四半期純利益	3,593	6,490
非支配株主に帰属する四半期純利益	50	50
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,542	6,440



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,593	6,490
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,405	17,478
退職給付に係る調整額	94	183
その他の包括利益合計	10,500	17,662
四半期包括利益	14,093	24,152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,035	24,092
非支配株主に係る四半期包括利益	58	59

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

従来、当社は有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について、定率法（ただし1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）及び2016年4月1日以降に取得した建物附属設備、構築物については定額法）を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

医薬品事業を営む当社は、当連結会計年度よりスタートしました中期経営計画「PEGASUS」（2020～2024年度）の下、後期開発テーマの着実な上市と製商品導入による製品ラインナップの充実とともに、オーソライズド・ジェネリックを中心とした受託製造の安定化により、生産本部においては生産品目、稼働状況に大きな変化が生じております。また、研究本部におきましても、低分子創薬へのフォーカス及び継続的に新薬等を上市できるパイプラインの最適化・ローリング等により、パイプラインの質的な向上とともに各研究部門における創薬テーマが明確となり、研究部門全体としての活動状況に大きな変化が生じております。

新中期経営計画に基づくこれらの変化を契機として、当社生産設備及び研究設備の稼働状況を確認したところ、今後の生産設備及び研究設備は耐用年数にわたり安定的に稼働することが見込まれることから、当社有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法として定額法を採用することが、その使用実態をより適切に反映し、期間損益計算をより合理的に行えるものと判断しました。

この変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の減価償却費は108百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ108百万円増加しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載いたしました、新型コロナウイルス感染症による社会経済への影響は当連結会計年度も一定期間継続するとの仮定及び会計上の見積りについて重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品	情報サービス	建設請負	物品販売	
売上高					
外部顧客への売上高	40,288	4,605	2,381	1,277	48,552
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,193	823	858	2,875
計	40,288	5,798	3,205	2,135	51,428
セグメント利益	2,056	402	183	28	2,670

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,670
セグメント間取引消去	47
固定資産の調整額	36
その他の調整額	△15
四半期連結損益計算書の営業利益	2,739

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品	情報サービス	建設請負	物品販売	
売上高					
外部顧客への売上高	44,463	4,779	2,440	512	52,195
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,312	830	810	2,953
計	44,463	6,091	3,270	1,322	55,148
セグメント利益又は損失(△)	2,490	432	209	△1	3,130

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,130
セグメント間取引消去	49
固定資産の調整額	2
その他の調整額	7
四半期連結損益計算書の営業利益	3,190

## 3. その他

## (1) 販売実績

当連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品事業	40,288	83.0	44,463	85.2	4,174	10.4
泌尿器科用薬剤	7,150	14.7	11,045	21.2	3,895	54.5
腎・透析科用薬剤	9,818	20.2	12,888	24.7	3,070	31.3
代謝内分泌科用薬剤	5,825	12.0	6,393	12.2	567	9.7
産婦人科用薬剤	1,254	2.6	912	1.7	△341	△27.2
眼科用薬剤	652	1.3	534	1.0	△117	△18.0
その他の薬剤	7,475	15.4	6,080	11.6	△1,395	△18.7
ヘルスケア食品	2,997	6.2	2,890	5.5	△106	△3.6
その他	5,113	10.5	3,716	7.1	△1,397	△27.3
情報サービス事業	4,605	9.5	4,779	9.2	173	3.8
建設請負事業	2,381	4.9	2,440	4.7	58	2.4
物品販売事業	1,277	2.6	512	1.0	△765	△59.9
合計	48,552	100.0	52,195	100.0	3,642	7.5
(うち輸出高)	(4,542)	(9.4)	(3,628)	(7.0)	(△913)	(△20.1)

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。